

「無所属の会」板橋区議会議員



しいなひろみ 楽しいな通信

ご報告枚数
236,900枚
前号までにお届けした
枚数です

皆さまこんにちは、板橋区議会議員のしいなひろみです。
昨年の10月23日の決算特別調査委員会において、総括質問に登壇させて頂きました。今号では、その時の質疑と答弁の内容等をご報告致します。本年も、板橋区の福祉予算拡充への舵切りと、一人でも孤立せず生きられる地域共生社会の実現のために、引き続き全力で取り組む所存でございます。

板橋区を23区でNO.1の福祉充実の街に!

決算総括質問のご報告(要約)令和2年10月23日

区議になって初めて、決算総括質問に登壇致しました。内容は、私の専門分野であります介護福祉に関するものを中心に、スライド等も使いながら、区民の皆さまからお預かりしている大切な介護保険料が適切に使われているか、高齢になっても安心して板橋区に住み続けられる制度が整っているかを、介護の現場目線に立ち質疑を行いました。以下はその要約です。



①東武練馬03循環バスの復活を求む



しいな質問

令和1年8月末、東武練馬03循環バスが廃止となりましたが、下赤塚地区を循環しているりんりんGOルート[※]を延ばし、土、日、祝日しか運行しない教育科学館やエコポリスセンターなどの4館をつなぐ無料バスを、平日、このエリアに運行するなど、現状ある資源の有効活用についての、お考えをお示してください。

都市整備部長 答弁

りんりんGOを含む各路線バスの延伸、あるいは迂回などを行いますと、所要時間が増えてしまうこと、現在のバス停を通らないルートになってしまうことなどから、既存路線の利便性が大きく低下することになってしまいます。既存のバスルートを生かした当該バス路線の復活は、なかなか難しいのではないかとこのように考えております。

資源環境部長 答弁

区の施設4館を結ぶ4館送迎バスですが、費用対効果の観点から縮小し、現在では年末年始とエコポリスセンターの休館日を除く土、日、祝日のほかは、小・中学校の夏休み期間に限り運行しています。このバスを、区内の交通利便性の総体的に低い地域などに路線バスのように運行させることは予定していません。

しいなの一言

廃止となったこの路線は土地の高低差があり、新しいバス停へ行くにも坂が多い地域です。坂道を下るといふ移動は、高齢者にとっては重心が後ろに下がり転倒の危険などのリスクもあります。高齢者の介護予防や認知症予防は社会参加でもありますので、その足がかりとなる移動の軽減として、ぜひ前向きに検討をさらに続けていただきたいと思います。



②高齢者が詐欺被害に遭わないための対策について



しいな質問

高齢者の方が詐欺被害に遭わないような対策が必要ではないでしょうか。詐欺電話がかかってきた通報があるエリア限定で、防災無線を通じて注意喚起のアナウンスをする。青色防犯パトロールカーも、具体的な詐欺内容のアナウンスを警察と連携し充実させてください。特殊詐欺撃退機能付電話の固定電話への買い替え時の助成金の、さらなる周知に力を入れてください。既存の固定電話の休止や廃止の手続きを促し、携帯電話の新規契約者には、補助金を出すなどの詐欺被害から高齢者を守る積極的な取り組みが必要なのではないと考えます。

危機管理室長 答弁

詐欺の電話等が多発する特定のエリアに対して、集中的に呼びかけを行うことは、非常に効果が高いと認識しています。区内警察署と連携し、詐欺の電話があった地域に青色防犯パトロールカーを急行させ、注意喚起の放送を行う特別巡回を実施しています。固定電話の休止や廃止については、抵抗がある高齢者も多く、簡易型自動通話録音機の配付事業、迷惑電話防止機能付電話機等の購入、補助金の活用を重視しています。区内警察署との連携の他、新たに民生・児童委員の皆様にもご協力を依頼して、補助制度等のさらなる周知に積極的に取り組みます。

しいなの一言

高齢者が、さらに特殊詐欺の被害等に遭わないように、警察・地域とも積極的な連携が必要です。

③在宅介護を支える特別障がい者手当(国制度 月額27,350円)の普及について



しいな質問

板橋区発行の介護保険関係の冊子にも掲載されていない、在宅介護を支える特別障がい者手当ですが、要介護4または5の在宅の寝たきりの高齢者も支給対象となる可能性があり、グループホームやサービス付高齢者住宅にいる人も対象となります。在宅介護を支援するためにも、高齢者福祉関係者への認知度向上を図るべきだと考えますが、いかがでしょうか。

健康生きがい部長 答弁

在宅介護を支援するためにも、特別障がい者手当の存在を高齢者福祉関係者に認知していただくことは大切です。地域包括支援センター長連絡会や、集団指導等の機会を捉え、区内の介護関係者をはじめとする高齢者福祉関係者に周知し、認知度向上を図っていきます。

しいなの一言

特養に比べて、利用料金が高額となると言われているグループホーム入居者や、サービス付き高齢者住宅の入居者も在宅扱いで対象となるのは、費用負担軽減となる巧妙です。ぜひ、申請普及の周知をしていただきたいと思います。

④地域包括支援センターの介護事業所への紹介件数の透明性について



しいな質問

介護保険では、サービスの事業所の提示は必ず複数として、その中から利用者を選んでもらうという規定があるにも関わらず、実際には地域包括からの業務の紹介依頼は、既に利用する居宅介護支援事業所やデイサービスが指定されているケースが相変わらず散見しているようです。これについてのご見解をお願いいたします。

裏面に続きます▶